



気がつけば9月中盤を迎え、朝夕の空気にも少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。  
先日の運動会では、全力で走り、踊り、仲間を応援した子ども達…きっと大人が思っている以上に、心も体もたっぷりエネルギーを使ったことと思います。大きな行事を終え、達成感とともに、少し疲れが出る頃かもしれません。



明日からは「シルバーウィーク」☆運動会まで頑張ってきた心と体をゆっくりと休めながら、ご家族で楽しい時間を過ごしてください。  
遠くへ出掛けるもよし！近くの公園で秋を見つけるもよし！お家でのんびり過ごすのも素敵ですね（笑）  
連休明け、元気な子ども達に会えることを楽しみにしています。

### △▼△元気に過ごすために！△▼△

インフルエンザに罹患したお子さんが確認されています。季節の変わり目でもあり、朝夕と日中の寒暖差から体調を崩しやすい時期です。

ご家庭でも、登園前のお子さんの様子をよく確認していただき、発熱や咳、強い倦怠感など、いつもと違う様子が見られる場合には、医療機関を受診され、無理をせずご家庭でゆっくり休ませてください。

園でも引き続き、手洗い・換気など基本的な感染症対策を行いながら、子ども達の体調の変化に十分注意してまいります。ご家庭におかれましても、十分な睡眠と食事を心掛け、体調管理へのご協力をお願いいたします。



### ☆☆☆「ENGLISH DAY」参加日のご案内☆☆☆

|                                                           |                                                                                |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 毎週水曜日に行っている「ENGLISH DAY」の様子を保護者の皆様にご覧いただく参観日を次の日程で行います。   | ・年長児：10月 7日（水）<br>・年中児：10月14日（水）<br>・年少児：10月21日（水）                             |
| 普段、子ども達がネイティブ講師とどのように英語に触れ、楽しみながら活動しているのか、ぜひ実際の様子をご覧ください。 | ① 10:15～10:50（ゆり・あさ・ちゅう）<br>② 10:45～11:20（もも・すみ・ひま）<br>③ 11:15～11:50（きく・すず・たん） |

クラスごとに参観時間が異なりますので、必ずお子さんのクラスの開始時刻をご確認のうえ、ご来園ください。  
子ども達にとっては、いつもの ENGLISH DAY にお父さん・お母さんが来てくれる、ちょっぴり特別な一日です。  
張り切りすぎて、「いつも以上に英語がペラペラになる…」かどうかは分かりませんが（笑）、楽しそうに英語に触れる子ども達の姿を温かく見守っていただければと思います。

### 喧嘩も「育ち合い」の一つ

子ども達が遊んでいると、時々こんな場面に出会います。「友達が使っているおもちゃが、どうしても気になる…」  
そのおもちゃそのものが欲しいのか？それとも、友達が楽しそうに使っているから魅力的に見えるのか？幼い子どもの中には、なかなか複雑です（笑）

幼稚園にはたくさんのおもちゃや遊具がありますが、もちろん一人に一つずつ用意されているわけではありません。おままごとのお鍋や包丁、お皿も数に限りがありますね。だからこそ、幼稚園という集団生活の中には「幼稚園のおもちゃは、みんなのもの」という約束があるのです。

使いたいときには「貸して！」…「いいよ」と気持ちよく貸してくれることもあれば、「やだ！」と返ってくることもあります。大人から見ると、「一つくらい貸してあげればいいのに…」と思うこともあります。

ある子がブロックをつなぎ合わせ、一生懸命何かを作っている…ブロックはたくさんあるので、その中の一つを貸したからといって、作っているものが完成しなくなるわけでもありません。それでも「貸して！」…「だめ！」…子どもの答えは実に潔いものです（笑）

理屈では「一つくらい貸しても大丈夫」と分かっているけど、心は「貸したくない」  
幼い子どもにとって、自分の気持ちをコントロールし、折り合いをつけることは決して簡単なことではありません。そして、ここからちょっとした喧嘩が始まるのです。

けれども、こうした子ども同士のやりとりを、単に「喧嘩」とだけ捉えてはいけません。むしろ、他者との関わり方を学ぶ大切な機会なのです。

「貸して」と自分の気持ちを伝える！でも、思い通りにならない…断られて悲しい、悔しい！時には怒る！反対に、自分が「貸したくない」と思う気持ちもある…

そんな経験を重ねながら、子ども達は少しずつ「自分の気持ちだけでは世の中は動かない」ということに気づいていきます。そして、「じゃあ後で貸して！」「一緒に使おう！」「これなら貸してあげる！」と、少しずつ自分なりの解決方法を覚えていきます。

もちろん、教師はただ黙って見ているだけではありません。  
必要な時には、「使いたかったんだね」「まだ貸したくなかったんだね」と、それぞれの気持ちを言葉にしてあげます。まだうまく自分の思いを表現できない子どもに代わって、気持ちと気持ちの橋渡しをすることも、教師の大切な役割です。面白いのは、さっきまで「だめ！」「やだ！」と言っていた二人が、しばらくすると同じブロックを囲み、一緒に何かを作り始めていることです。「あれだけ揉めていたのは何だったの？」と、教師の方が拍子抜けすることもしばしばです。

でも、その短い時間の中で、子どもの心はたくさん動いています。貸したくない気持ち…使いたい気持ち…悔しい気持ち…一緒に遊びたい気持ち…仲直りしたい気持ち…そうした心の揺れ動きを何度も経験しながら、人との距離の取り方や、自分の気持ちとの折り合いのつけ方を少しずつ身につけていきます  
白ゆりが大切にしている「育ち合い」とは、決して仲良く遊ぶことだけではなく、友達に刺激されることも、我慢することも、譲ることも、時には譲れないことも…その全てが、子ども達が人との関係を築いていくための大切な経験です。喧嘩をしない子に育てるのではなく、喧嘩をした時にどう気持ちを伝え、どう折り合いをつけ、もう一度一緒に遊べる関係に戻っていくのか？！

今日も園内のどこかで、「貸して」「やだ！」が聞こえてきます。  
そして、その少しあとには、同じおもちゃを囲んで笑っている姿があります（笑）それもまた、白ゆりの日常の中にある大切な「育ち合い」です。